

市立函館高等学校

教頭 三上英一

本校は、平成一九年に函館東高校と函館北高校を統合し、市立函館高校(単位制普通科)としてスタートし、次年度十二年目を迎えます。校舎は旧函館東高校を使用し、五稜郭公園に隣接した環境の良い立地の中で教育活動が展開されています。

PTA活動も活発に行われ、学校祭での活動をはじめ、地域や生徒との関わりの中で様々な取組をしています。

## 1 学校祭(柳星祭)の取組

### (1) 親父の会



柳星祭では、毎年生徒が行灯を作成し、市内を5km強を掛声をかけながら練り歩きます。事前に保護者やOBにも声をかけ、一週間前から「親父の会(母親も多

数在籍)入会者による行灯作成を生徒に負けじと製作します。今年度の作品は「土方・沖田・近藤」の三名を合体させた新撰組で、作成延べ人数は一六八名、当日の担ぎ手は三六名で市内を歩きました。



### (2) まま茶屋

柳星祭では、親父の会とは別に、母親だけで構成された無料休憩所を「まま茶屋」として設置しています。本校の一般開放日での来校者は毎年二五〇〇名程で、校内がごったがえす中、飲み物やお菓子を提供し、ピンクのエプロンでお出迎えするその場所は、まさにオアシスで、歩き疲れたお子様連れ家族や、お年寄りがホッと一息つける場所になっています。(当日は本校生徒が唯一入室禁止の場所)

## 2 PTA研修会の取組

### (1) 校内研修

①今年度は六月に講師をお招きし、シャドーボックス作成に挑戦しました。



何枚もの紙を重ねて作成し、完成すると立体的に見えるました。完成品は柳星祭で展示しました。

②十一月には野菜料理研修会を開催し、野菜のうまみを生かしたポタージュ作成をした後、普段生徒が使用している本校の学食体験を実施しました。

### (2) 視察研修

十月に校外研修として、函館市内のガラス工芸作品制作や、海産物・チョコレート工場見学など、普段見ることのできない場所へ赴き、見聞と親睦を図りました。

この他、PTA便りの発刊や各種研修会の参加など積極的な取組をしています。

